

一般的な調査診断の種類


※「既存住宅インスペクション(調査診断)ガイドライン/国土交通省」に基づく分類

一次的調査※ (劣化調査)	二次的調査※ (耐震診断)	性能向上調査※ (住宅医による性能向上診断)	
主な調査診断項目(性能)			
劣化調査	劣化調査	劣化調査 耐久性	省エネ
	耐震性	耐震性	バリアフリー
		温熱性	火災時の 安全性
こんなときに			
中古住宅 売買時の 建物検査	現状の 耐震性能 を知りたい	二世帯化や間取り変更 など、大規模リフォーム を検討したい	
維持管理 のための 定期点検	耐震補強 について 検討したい	耐震、温熱など、総合的 な性能向上リフォーム を検討したい	
一般的な費用(目安:税別) (注)			
10万円 程度	20万円 程度	30万円 程度	


(注) 費用は目安です。既存住宅の規模や調査の内容、立地等によって異なります。

住宅医による性能向上診断(既存ドック) — 建物詳細調査 —

小屋裏・天井裏

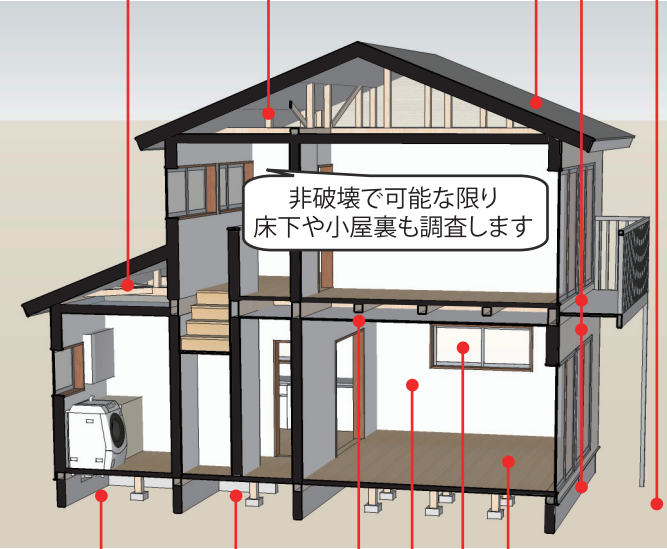


軸組材・下地材・断熱材・換気口など




地面・基礎・軸組材・下地材・断熱材など

床下




非破壊で可能な限り
床下や小屋裏も調査します

屋外・外構



基礎・外壁・屋根・バルコニー・塀など

天井・内壁・床・開口部・設備機器など



室内・設備

住宅医による性能向上診断(既存ドック) — 6つの性能診断 —

